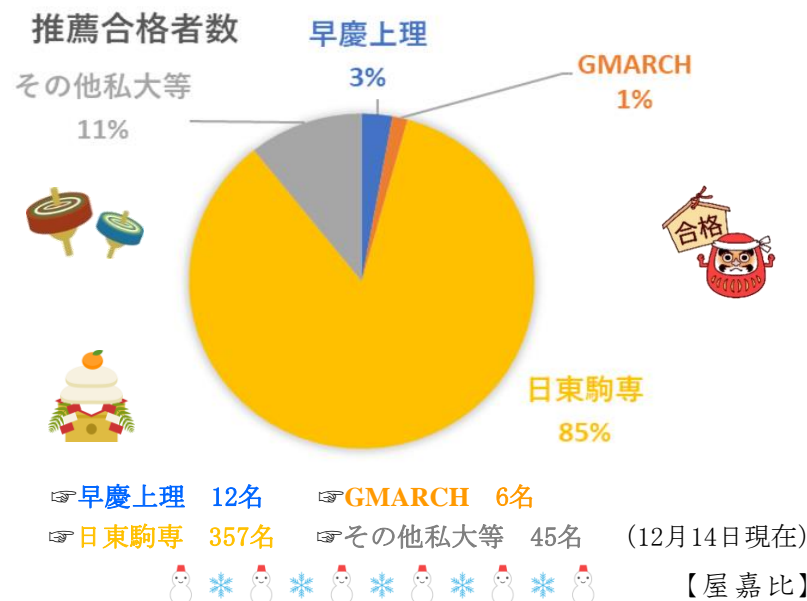


付属推薦・指定校推薦合格速報

12月も下旬に差し掛かり、ほとんどの学校推薦型選抜と総合型選抜の結果が発表されました。ここ数年の入試傾向から、全国的に推薦枠を増やす大学が多く、早めに合格を決める生徒が増えているのが実情です。

豊山でのここまでの学校推薦型選抜(付属推薦)と総合型選抜(指定校推薦)等の合格者数を発表します。高1・高2の生徒は、自分が将来行きたい大学グループには何%が推薦で合格しているかという視点で確認をしてみましょう。

今後は一般選抜を中心に、さらに上位校の合格者数が増えていく見込みです。



高1・2小論文テスト

【高2: 志望理由書】

3学期を迎えて早々の1月12日(水)の午後に、小論文テスト①を実施します。今年度は、いよいよ志望理由書の作成です。

冬期休暇の宿題として、『志望理由書マスターノート』の45ページが課されます。これが、小論文テスト①の為の下書きとなります。いきなり45ページを開くのではなく、まずは「入門編」「準備編」に目を通してみましょう。「原稿用紙の使い方」「注意したい言葉づかい」「おもな学部・学科の内容と進路・職業・資格」「社会問題を調べるヒント」など、すぐに役立つ情報がコンパクトにまとめられています。

試験当日は、まず5時間目に講師の方のレクチャー動画を視聴します。動画で学んだポイントを、冬期休暇中に作成した下書きへと反映させ、より良い志望理由書へと練り上げます。6時間目は、その清書と提出の時間となります。清書には40分間しかかけることができませんので、冬期休暇中に必ず下書きをしてきてください。

【高1: ステップ基礎小論文】

高2と同様1月12日(水)の午後に、小論文テスト①を実施します。今年度は、テーマ型問題について小論文を作成します。

冬期休暇の宿題として、『ステップ基礎小論文 書き方ノート』が課されます。これが、小論文テスト①の為の練習となります。この宿題は、「質問の意図を読み取って書こう」を目標にして、テーマで問われていることをとらえる力を身につけていきます。

試験当日は、5・6時間目を通じて実施します。与えられる4つのテーマから1つを選択し小論文を作成します。80分間の制限時間の中で書けるように、冬期休暇中は必ず課題に取り組んでください。

【竹原・多胡】

速報 ～他大合格者の声～

先月号で日本大学(付属推薦)合格者が付属推薦の小論文や面接で何を聞かれたか、感想や後輩へのメッセージをお伝えしました。今月号では他大学合格者版(指定校推薦)を掲載します。紙面の都合上、早慶上理から上智大学と東京理科大学を紹介します。(①小論文があったか/②面接の形式/③面接で何を聞かれたか/④後輩へのメッセージ)

＜上智大学(経済学部経済学科)＞

①なし/②個人面接(面接官2人)/③1.事前に指示された課題図書について(感想、一番印象に残ったこと、データ分析について) 2.数学について(得意か、数Ⅲを学んだか) 3.英語について(得意か) 4.最後に言いたいことはあるか/④予想できる質問に対しては答えをまとめておく。緊張しすぎず、会話する感覚で大丈夫! →文系から経済学部を受験すると数学の知識について面接で聞かれるようです。

＜東京理科大学(工学部情報工学科)＞

①なし/②個人面接(面接官4人)/③1.志望理由書に関する質問 2.なぜ東京理科大学なのか/④志望理由を明確に完璧にしておく。待ち時間があるので緊張を紛らわせるために本を持っていく。自分は大丈夫だという心を持つ。→事前に提出する志望理由書について、4人の面接官から次々と深く聞かれたようです。志望理由書を徹底的に見直して準備しておきましょう!

その他の大学については、抜粋して紹介します。

【小論文のテーマ】

日本の第一エネルギーの供給量の今後についてグラフから考えたことを述べよ(防衛大学校理工学専攻, 60分1000字)/情報技術で飢餓をゼロにするためにはどうすればよいか(東京都市大学情報工学部, 800字で事前書き, 当日プレゼンを行う)/音楽を学ぶことに意義はあるかないか(淑徳大学教育学部, 60分600字)/アスリートが政治的問題に声を上げるのはよいか(駿河台大学スポーツ科学部, 60分600字)

【面接の質問事項】

明治薬科大学の方が家から近いのに、なぜ東京薬科大学を志望したのか/発音が難しい単語(failureなど)が含まれる英文を読まれた/大学院進学を考えているか/コロナにどのように対応したか/大学でストレスが溜まったらどこで発散するのか/薬剤師になりたいと言ったら、なぜ研究職ではいけないのか聞かれた/日本語5分、英語10分の面接だった(獨協大学外国語学部)

【メッセージ】

質問の内容が理解できなかった場合は、遠慮なく「もう1回お願いします」と聞くべき。よくわからない質問に対してずっと考えていても答えは出てこない/スマートフォンやiPadなどの通信機器は使用できないため、腕時計必須。教室に時計はなかった/先生や友達と面接練習をとにかく繰り返すこと。自分が進みたいと考えた分野に関しての知識を増やしておくこと/受け答えは簡潔かつ明快にしないと最後まで聞いてくれない。実際に途中で遮られてしまった/面接は7割のパフォーマンスができればいいと考え、緊張で自分を追い詰めないようにしよう。緊張を受け入れて頑張ってください/会場をしっかりと把握しておく。わかりづらくて焦った/圧迫面接で詰められても気弱にならないメンタルを持て!

【金久保】

日大チャレンジ特別進学模試

2月7日(月)に高1・2対象の日大チャレンジ特別進学模試を実施します。高1・2ともに英語と数学は全問マーク式、国語はマーク式+記述式です。高1は、3教科の試験を午前中に行い、午後は授業なしの予定です。高2は、4教科(文系は地歴公民、理系は理科を含む)の試験を行うため、授業はありません。各学年、各教科60分の試験です。以下、各科目の出題予定範囲です。

高 1		高 2	
朝礼・原票記入	8:25～ 8:45	朝礼・原票記入	8:25～ 8:45
国語 (60分)	8:55～ 9:55	国語 (60分)	8:55～ 9:55
英語 (60分)	10:10～11:10	数学 (60分)	10:10～11:10
数学 (60分)	11:25～12:25	英語 (60分)	11:25～12:25
午後授業なし(予定)		理・社 (60分)	13:05～14:05

高 1 各科出題内容	
国語	I. 国語知識 II. 現代文(評論) III. 現代文(小説) IV. 古典(古文) V. 古典(漢文)
英語	I. 聴き取りテスト II. 語彙(連語) III. 文法・語法 IV. 対話文 V. 語整序 VI. 語解空所補充 VII. 長文読解(高2は長文読解英問英答)
数学	1. 小問集合(数学I・A) 2. 数と式(数学I) 3. 不等式(数学I) 4. 2次関数(数学I) ※ 以下より2問選択 5. 確率(数学A) 6. 2次関数(数学I) 7. 図形と計量(数学I) 8. 整数の性質(数学A)

高 2 各科出題内容(国語と英語は高1を参照)	
数学	1. 複素数と方程式(数学II) 2. 2次関数の理論(数学II) 3. 図形と方程式(数学II) 4. 三角関数(数学II) 5. 指数・対数関数(数学II) 6. 微分法(数学II) 7. ベクトル(数学B) 8. 数列(数学B)
物理	I. 物体の運動 II. 運動と力 III. 剛体 IV. 波 V. 熱 VI. 電気
化学	I. 物質の構成 II. 物質と化学反応式 III. 酸と塩基反応 IV. 酸化還元反応 V. 溶液 VI. 固体・気体
生物	I. 細胞・生物の特徴 II. 生体膜と物質の輸送 III. 細胞間の情報伝達 IV. DNAの構造 V. 体細胞分裂とDNA VI. 腎臓のはたらき VII. 神経とホルモンによる調節 VIII. 免疫 IX. 植生の多様性と分布 X. 生態系
日本史	I. 縄文時代～奈良時代 II. 平安時代 III. 平安時代～鎌倉時代 IV. 文化史(飛鳥時代～鎌倉時代) V. テーマ史(大問I～IVの範囲内)
世界史	I. 古代オリエント II. 古代ギリシア・ローマ III. 中国史(殷～元) IV. イスラム世界 V. 中世ヨーロッパ VI. テーマ史(大問I～Vの範囲内)
倫・政	I. 青年期の課題と自己形成 II. ギリシャ・中国思想 III. 世界の宗教 IV. 民主政治の基本原則と日本国憲法 V. 日本の政治 VI. 現代の国際政治
地理	I. 地形(地形図含む) II. 気候と植生・土壌 III. 日本の自然と生活, 環境問題 IV. 農林水産業 V. 資源・エネルギー・工業 VI. 第3次産業, 交通・通信, 貿易

～共通テストに向けて～

受験票も届き、いよいよ共通テストまで1ヶ月を切りました。国公立大学受験者はもちろん、私立大学でも共通テストを利用した入試に出願する受験生は、やってきたことの全てを出し切りしたいところです。そこで今回は共通テストに向けて高1・高2がやるべきこと、そして高3が今からできることをお伝えします。

共通テストで高得点を取るには、①各教科、基礎的な内容をしっかりと定着させる、②知識を使って解答できるように問題演習を行う、③共通テストの問題形式に慣れる、ことが重要です。特に②は、共通テストで出題される問題形式だけでなく、大学受験用の参考書や、大学入試問題を解くことで、①で習得した知識を使い、思考力を問う問題にも対応できるようになるための重要なプロセスです。このプロセスが抜けると③をいくらやっても得点は伸びないでしょう。また、①ができていなければ、共通テストには全く歯が立たないはずで、高1・高2は以上のことを意識しながら、今から対策することをお勧めします。

高3の受験生が今できることは、①時間配分を身につける、②メンタルケア、③試験当日の起床から試験終了までの流れの確認、です。この3つは、実力をつけてきたみなさんが、本番で慌てないようにするためのものです。①は既に対策している人も多いかと思いますが、共通テストを時間内に解き、実力を出し切るのに必要不可欠です。過去問演習等で身につけましょう。②、③については考えていない人もいます。②に関しては、普段と違うことをしないということです。いつもと同じことをして、いつもと同じように振舞うことで、平常心を保ちましょう。③は②を意識しながらやる必要があります。模試等を受験する時から考えておくと、これを「普段通り」にすることが出来ます。朝起きて何を食べて、何を着て、何をしてから家を出るのか。何時の電車に乗って、何時に会場に到着して、試験開始までに何をするのか。教科と教科の間には何を飲み、何を食べて、お昼ごはんは何を持っていくか等を決めておくことで、試験に集中できることでしょう。もし共通テストで気づくことがあれば、その後の入学試験で調整し、実力を出し切れるようにしましょう。

【亀谷】

1月の進路行事

1月12日(水) 小論文テスト (高1・高2)

1月15日(土) 16日(日) 大学入学共通試験(高3)
※共通テスト同日体験外部受験(高1・高2特進希望者)

1月17日(月) 共通テスト自己採点 (高3)

1月15・16日(土・日)に高1・2特進クラスの希望者(進学コースの人は担任に申し出る)は、東進ハイスクールの共通テスト同日体験を校外で無料受験できます。希望する生徒は1月13日(木)までにインターネットで申し込んでください。また、他の模試と異なり、夕方頃からの実施ですので、時間等にも注意してください。なお、条件に合致しない場合は、受験料3,300円が必要です。

【日大N方式】1月8日(土)始業式に、日本大学N方式第1期の出願手続をコンピュータ教室②で行います。付属生は無料で最大15学部を受験(併願)できるので、受験日程(N方式は2月1日)を確認しよう。なお、受験を希望する生徒は、事前にネット上でマイページ(要写真データ)を登録し、受験地を決めておくスムーズに出願できます。ただし、調査書(300円)を申し込んでいない人は、1月8日(土)に申し込むこと。

【伊藤秀】

次回2月号は、1月31日(月)発行予定です



【川原・多胡】

